

平成 21 年度電気関係学会東海支部連合大会

オーラルセッション発表の手引き

プロジェクタの設置とコンピュータ

全ての会場に、液晶プロジェクタを設置致します。発表用のノートパソコン(PC)は各自ご持参下さい。

スライドは持参 PC を接続しての液晶プロジェクター(解像度:XGA)による映写もしくは OHP による映写となります。

なお、お申込時にいずれかを指定いただいておりますので、ご指定の機器のみを準備いたします。

プロジェクタと PC はアナログ RGB ミニ D-Sub 15 ピンコネクタ(PC 側コネクタはメス)にて接続します。PC 側コネクタの形状がこれ以外の場合には、各自でアダプタをご持参願います。

表示テスト

必要に応じ、休憩時間等を利用して、発表セッションの開始時までには発表会場のプロジェクタに接続し、事前に表示テストを行っておいて下さい。セッション参加者全員が表示テストを行うことは時間の関係上困難と思われるので、希望者のみの任意といたします。

表示ソフトの立ち上げ等

発表の際のPCとプロジェクタとの接続やパワーポイントなどの表示ソフト立ち上げに要する時間は、全て発表時間に含まれます。実際に講演する時間が短縮されないよう、表示ソフトの立ち上げなどは発表時間前にご準備下さい。セッション中は、次の発表者の方はすぐにプレゼンテーションが開始できるよう、PC立ち上げ等の事前準備をお願いします。

ファイルのバックアップ

PCとプロジェクタとの接続不良などで表示ができない場合に備えて、USB接続のフラッシュメモリなどに発表資料を保存し持参されることをお勧め致します。

講演時間

一般講演(オーラルセッション)の講演時間は、1件あたり発表10分、質疑応答2分、合計12分の予定です。時間枠厳守でお願い致します。

講演資料

ご自身の予稿や補足資料などを印刷したものを設置するスペースを各会場に設けてあります。是非ご活用ください。
なお、これら資料はセッション開始前に設置ください。